

第5次 飯田市立図書館サービス計画 概要版

計画策定の趣旨

住民や図書館を取り巻く環境変化や課題を踏まえ、今後4年間の重点取組を定めます。

計画の位置づけ

「いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)」、「第2次飯田市教育振興基本計画」を上位計画とし、これらの分野別計画として位置づけます。

計画の対象期間

令和7(2025)年度から令和10(2028)年度までの4年間

第4次計画における課題

読書や図書館利用への関心の低下、調べもの支援等のサービスの認知度の不足、日常的に読書を行っている児童生徒の減少、郷土資料を活用した学びや市民運営による読書交流活動の減少

第5次飯田市立図書館サービス計画の3つの基本方針

◇一人一人の読書と学びを支えます

◇読書を通した交流やつながりを広げます

◇地域の歴史と文化の記録を蓄積し、現在から将来にわたって地域の学びに生かします

具体的な取組 ※主な取組を記載(太字は重点)

I

図書・資料・情報提供の充実

ライフステージや多様なニーズに応じた資料や情報を収集・提供し、市民の主体的な読書や課題解決を支援します。

① 資料の収集と提供	・「暮らし」と「仕事」と「地域」に役立つ多様な図書を収集・提供 ・図書館を気軽に利用できる環境づくり【重点】 ・来館者や未来館者の興味・関心を喚起したり広げたりするような本の紹介、情報発信 ・活字を読むことが不自由な方への録音図書利用PR
② 調べもの支援(レファレンス)の強化や周知【重点】	・調べもの案内コーナーに利用者が話をしやすい環境づくり ・レファレンス事例を蓄積し、活用に向けて公開【新規】 展示等で事例の紹介 ・図書館を使った情報の探し方講座実施 ・職員の情報探索力の向上を図る研修実施
③ 郷土資料の蓄積・活用	・郷土資料の紹介展示、ウェブサイト、SNS等で情報発信 ・郷土新聞や郷土の音声資料、劣化の激しい郷土図書の計画的なデジタル化
④ 資料の保存	飯田市の資料として保存すべき資料を精査して保存、収蔵庫検討

指標	現状 R5年度	目標値 R10年度	備考
貸出利用者数(延べ人数)(人)	190,822	190,000	全館(分館含む)
レファレンス数(件)	2,593	2,600	中央・駅前・鼎・上郷
飯田市立図書館ウェブサイト閲覧数	175,702	250,000	年間総アクセス数

① 乳幼児のふれあいと絵本の楽しさを体験する機会の充実	・7カ月児へ「はじめまして絵本」プレゼント・4歳児へ「おともだち絵本」プレゼント ・保育所から家庭への絵本の持ち帰り推進 保育所への本の団体貸出充実
② 小中学生の自発的な読書に向けた取組【重点】	・小中学生が、読みたい意欲が湧くための取組、読むことが楽しいと感じるための取組、好奇心が刺激され、読書や調べることへの興味・関心が広がるための取組 ・コロボン、読書手帳、こども同士の本の紹介、理科読、たねの会の取組 等
③ 学校図書館支援、連携	システム導入支援、学校図書館の読書推進・情報活用能力育成取組支援、合同研修会
④ 高校生の読書推進	駅前図書館を拠点とした読書や図書館に親しみ企画実施
⑤ こどもと一緒に行きたくなる図書館	「図書館こどもタイム」【新規】、児童コーナーの親しみやすい雰囲気づくり
⑥ 読書推進の体制づくり	飯田市こども読書活動推進計画の策定【新規】 R7準備・調整 R8策定 R9施行

指標	現状 R5年度	目標値 R10年度	備考
【7カ月児】絵本プレゼント受取割合(%)	99.2	100	絵本を受け取った人数／対象者数
【4歳児】絵本プレゼント受取割合 (%)	100	100	絵本を受け取った人数／対象者数
絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数(園)	29	35	定期的に家庭へ本を持ち帰っている保育所数
「おもしろい」と思う本に出会えた児童・生徒の割合 (%)	小6 (R6) 75.6 中3 (R6) 71.1	現状値以上	飯田市児童・生徒読書調査 調査年度に、「おもしろい」「感動した」「夢中になった」と思う本に出会えた児童・生徒の割合
日常的に読書を行っている児童・生徒の割合 (%)	小6 (R6) 41.7 中3 (R6) 37.7	現状値以上	飯田市児童・生徒読書調査 授業以外で1週間に30分以上読書をしている割合

II

学び合いによる人と人とのつながり、読書や学びが広がる場づくり

市民の皆さんのが読書や学び・活動の場へ参加し交流することで、人と人とのつながりができ、学びが深まり、さらなる活動への意欲や関心が生まれるよう支援します。

市民や研究団体等と共に、学び合い交流する場をつくる【重点】	・読書会、読書を通した学び合い・交流の機会づくり ・実行委員会企画・運営による中央図書館開館110周年記念「みんなでつくる明日の図書館」事業を実施【新規】 図書館を活用した市民の主体的な活動を支援 ・研究団体等と共に、郷土資料を活用した調べる体験を通して学び合い、交流の機会を提供
-------------------------------	--

指標	現状 R5年度	目標値 R10年度	備考
講座・企画等開催数(件)	31	32	中央・駅前・鼎・上郷
講座・企画等参加者数(人)	1,159	1,200	中央・駅前・鼎・上郷

III

子どもの読書活動の推進

こどもたちが、読書の楽しさを体験し、知ること学ぶことの喜びを知り、自分で考える力、課題を解決する力を培うことができるよう、関係機関と連携し、発達段階に応じて継続的に読書活動の推進を行います。

小学生の自発的な読書に向けて、読んでもらうことから自分で文字の本を読むことへの移行時のつまずき解消、読みごたえのある本を読む意欲を育むための取組を行います。

IV

身近に使える分館の充実

① 各地区の特色を生かした分館の運営	・地区の要望に沿った蔵書づくりとそれぞれの分館の特徴を活かした読書推進、利用PR ・地区内の各種施設や関係機関と連携した事業の実施
② 地区の中の居場所になる	誰でも気軽に立ち寄り気軽に話せる心地よい場所

指標	現状 R5年度	目標値 R10年度	備考
地区住民一人当たりの貸出冊数(冊)	1.6	1.6	分館・貸出冊数／地区人口

V

安全・安心して使える施設の整備

① 施設・設備管理	保守点検・修繕、教育委員会施設等総合管理計画に基づき施設・設備の改修・更新
② ゼロ・カーボンの取組	環境に配慮した施設整備 照明器具のLED化等